

フォーラム 「日本の美意識と建築論」
— 美と用の問い —

第5回 福井の地から建築史・建築論を考える

日本建築学会福井支所主催

建築文化週間 2017

日本古来の伝統的な美意識には、純粋美を追求するヨーロッパの明晰な主知主義的思考とは全く異なり、抒情性や清浄観を含み、自然なものとの繋がりを尊重し、さらに人格性や生きる意味を問い求めるモラルティ（倫理観）が深く内在化していると思われる。

こうした日本の美意識をめぐって、中世以来の能楽と芸道、そして近代の民芸・民家を具体的な事例として取り上げ、そこから見出される「美」と「用」の関わりを建築論の問いとして議論したい。

日時：2017年10月14日（土）14：00～17：30

会場：アオッサ6階601-A研修室（JR福井駅前）

定員：30名（入場無料、申込不要、先着順）

プログラム

主旨説明

発表者：①能楽・芸道の視点から

佐々木香織（石川工業高等専門学校）

②民芸・民家の視点から

杉山 真魚（岐阜大学）

討論会

コーディネーター 田中 明（武庫川女子大学）

連絡先

福井工業大学建築土木工学科 市川秀和

hidei@fukui-ut.ac.jp

第1回（2013年）11/10

森田慶一『西洋建築史概説』
刊行50周年を記念して

講師：加藤 邦男
（京都大学名誉教授）

第2回（2014年）10/25

増田友也の思索をめぐって

講師：中村 貴志
（建築論研究所）



今和次郎 越前の民家スケッチ

第3回（2015年）11/29

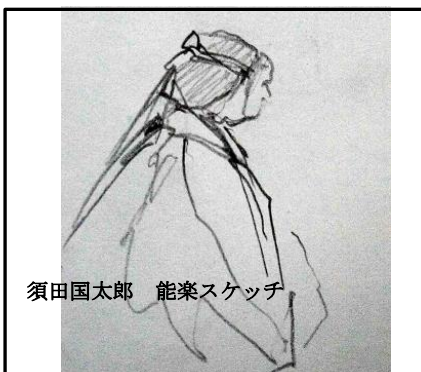
増田友也の建築作品について

講師：人長 信昭
（京都嵯峨芸術大学客員教授）

第4回（2016年）11/26

渡部貞清とイタリアと近代建築

講師：松本 静夫
（元福山大教授）



須田国太郎 能楽スケッチ